

各図書館の開館時間

中央図書館：9時～17時

八木図書室：(平日)10時～18時・(日曜)10時～17時

日吉図書室：(平日) 9時～18時

(土・日) 9時～17時

美山図書室：9時～17時・(金曜のみ)11時～18時

図書館へようこそ!



イメージキャラクター“なびっと”

No.8

皆さんの「?」「?」の答えを見つけましょう!

南丹市立図書館・室では、あなたの疑問解決のお手伝いをしています。お気軽に何でも聞いてください。

図書館・室は、「本に関する質問」でなくても、皆さんのいろんな疑問・質問にお答えできるよう、日ごろからさまざまな資料を収集し、情報の提供に努めています。これは、「参考業務」といって、図書館・室の重要な仕事のひとつです。

日常生活でちょっとした「?」を感じた時、もっと地域の図書館・室を活用してみませんか?

これまで皆さんから、図書館に実際に寄せられた質問事例を紹介します。

「自家製の大豆を使って、一から豆腐を作ってみたのだから…」

「もっと年金をもらえるよう、今の受給制度や仕組みを理解したい」

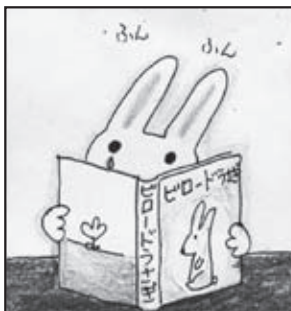
皆さんが「知りたいな!なんだらうな?」と思われることを、気軽に問い合わせしてみてください。

「?」を感じたら、まずは近くの図書館・室へ!いつでも皆さんからのご依頼をお待ちしています。



▲お気軽に窓口へおこしく下さい

なびっとの4こまマンガ —ピロードのうさぎ—



作：都築 菊子さん
拓也くん (親子)

※この作品は、平成19年8月に募集した「なびっと4こまマンガ」の中から掲載しています。

新刊紹介



「ハラボジの留学」

著…峰 龍一
発行…新読書社

「ハラボジ」とは韓国語で「じいさん」のこと。三十五年間の中学の教員生活を経た後、韓国語を聞き取ることも話すこともままならないのに、突然、韓国の大学に留学したいと言いつつ出たハラボジ。二年四ヶ月の留学生活をつづった実体験小説。

「おんぼロボット」

著…アキヤマ レイ
発行…理論社

まちはずれの丘の上の「けんきゅうしょ」で博士と暮らしている、ロボットのトト。「いつか町へ行きたいなあ…」ある日トトは町において、ひとりの少年と出会いました…。古典の薫りがする、まったく新しい絵本。

「みーんなダメな子だった」
発行：日経ホーム出版社

子育てに正解などなく、子どもにあるべき姿などない。そんな大切なことをあらためて教えてくれるトップランナーたちの、子どものころのダメストーリーを紹介。
『日経キッズプラス』連載をまとめて単行本化。